

羽場久美子教授のご退任にあたって

国際政治経済学部 長 末 田 清 子

羽場久美子先生は 2007 年に本学部国際政治学科にご就任後 14 年間、教育と研究の両側面から学生たちに多大な知的刺激をお与えくださり、本学部の益々の国際化を牽引してくださいました。そのご貢献に対し、心より感謝申し上げます。

大学のホームページの情報を拝見するだけでも、ご研究の業績には圧倒されます。ご専門分野は国際政治学、国際関係学、国際社会論、拡大 EU・NATO、ナショナリズム論、グローバリゼーションと地域統合論、冷戦研究、民主主義と民主化、ナショナル・アイデンティティ、地域アイデンティティと多岐に亘っています。また、ご研究の対象地域もヨーロッパのみならずアジア（主に東アジア）にまで及んでいます。

数多くの国内外の学会で要職をお務めになってきただけでなく、国際政治経済学部付置国際研究センターにおいて常に研究会を開催してくださいました。私が存じあげる限りですが、2016 年度年から 2020 年度までの 5 年間に研究会は 10 回開催して下さったという記録が残っております。学会でのご活躍のほかに毎年少なくとも 2 回は研究会を運営し、かつ 1 回は大きなプロジェクトを企画・運営してくださいました。また、その傍ら社会的活動にも心血を注いでいらっしゃる様子が窺われます。その代表的なものとして、2019 年度下期には日本政府観光局のアンバサダーに社会科学の領域初の研究者としてご就任なさっておられます。

今年度は新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 拡大の影響は大学における授業のみならず、学会活動にも及んでおります。特に 2020 年 12 月 3 日 (木)、

4日(金)、8日(火)の3日間にわたり、公開シンポジウム「世界戦争100年と戦後の国際秩序形成」～新国際秩序をどう作るか～をオンラインにて開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大により、全世界が大きな転換期を迎え、多くの困難を共有しています。この転換期の中で平和・安定・繁栄を確立するために、「新国際秩序」をどう構築するかについて検討するという趣旨です。オンラインという新しい形態の大きな国際学会を、時差を調整して運営なさるのに大変なご苦労があったかと拝察いたします。そんな中多くの学生たちが国際会議というものを肌で感じ、知的刺激を受けたことでしょう。

これまでのご貢献に厚く感謝申し上げますとともに、今後の益々のご活躍をお祈り申し上げます。